

文化施設(博物館等)運営状況調査
(令和5年度実績・令和6年度計画)

目次

施設運営基本情報について

- 1 県内施設の種別・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
- 2 入館者数について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
- 3 休館日について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
- 4 令和5年度の施設運営に係る新型コロナウイルスの影響について・・・・2
- 5 県の文化芸術振興施策に対する意見、他の文化施設と意見交換したい事項等・・・2

千葉県文化芸術推進基本計画の施策の柱に基づく実施状況について

- 1 【柱1】あらゆる人々が文化芸術に親しむことができる環境づくり・・・・3
- 2 【柱2】ちばの多様な伝統文化が輝き続ける地域づくり・・・・5
- 3 【柱3】新たな文化芸術の価値を創造できる社会づくり・・・・9
- 4 【柱4】次代を担う子どもや若者がちばの文化芸術に触れる機会づくり・・・・12
- 5 【柱5】ちばの強みを生かした文化芸術の創造・発信・・・・16

※調査対象45施設(うち回答があった41施設について集計)

施設運営基本情報について

1. 県内施設の種別

県内施設の種別

全体	総合博物館	美術博物館	科学博物館	野外博物館	歴史博物館	動物園・植物園・水族館	その他博物館	施設数計
	2	8	4	0	24	1	2	41

(エリア別内訳)

エリア	総合博物館	美術博物館	科学博物館	野外博物館	歴史博物館	動物園・植物園・水族館	その他博物館	施設数計	全体に対するエリア別施設数割合(%)
ベイ	2	1	3	0	8	0	1	15	36.6
東葛飾	0	1	1	0	6	0	0	8	19.5
北総	0	3	0	0	6	0	0	9	22.0
九十九里	0	1	0	0	0	0	1	2	4.9
南房総	0	1	0	0	1	1	0	3	7.3
かずさ・臨海	0	1	0	0	3	0	0	4	9.8

2. 入館者数について

総回答者数 41

令和5年度の入館者数(概算含む)

	①入館者総数(人)	②①のうち、伝統文化に係る展示・事業の入館者・参加者数(人)
令和5年度	2,750,942	869,666

(エリア別内訳)

エリア	①入館者総数(人)	②①のうち、伝統文化に係る展示・事業の入館者・参加者数(人)	全体に対するエリア別入館者総数割合(%)
ベイ	885,883	327,733	32.2
東葛飾	268,083	131,643	9.7
北総	517,618	268,067	18.8
九十九里	38,328	37,293	1.4
南房総	984,503	54,503	35.8
かずさ・臨海	56,527	50,427	2.1

※伝統文化とは、伝統芸能、郷土芸能、地域固有の文化。また、生活文化、国民娯楽、文化財等、歴史的又は文化的景観のうち伝統的なものを指す。

(参考:前回との比較) 総回答者数:30	①入館者総数(人)	②①のうち、伝統文化に係る展示・事業の入館者・参加者数(人)
令和4年度	1,488,192	862,552

(エリア別内訳)

エリア	①入館者総数(人)	②①のうち、伝統文化に係る展示・事業の入館者・参加者数(人)	全体に対するエリア別入館者総数割合(%)
ベイ	824,017	538,487	55.4
東葛飾	179,746	106,461	12.1
北総	317,962	93,734	21.4
九十九里	33,386	31,995	2.2
南房総	61,059	61,059	4.1
かずさ・臨海	63,256	22,050	4.3

3 休館日について

総回答者数 41

(1)休館日について教えてください(年末年始等の休館は除く。)

全体	日	月	火	水	木	金	土
	7	34	3	1	0	0	1

(内訳)

区分	日	月	火	水	木	金	土
a.毎週	7	34	3	0	0	0	0
b.隔週	0	0	0	0	0	0	0
c.その他(月1回等)	0	0	0	1	0	0	1

(2)休館日を変更する予定の有無等について

変更予定	(件数)	②変更の内容(抜粋)	③変更の予定時期(抜粋)
有	6	展示リニューアル工事による臨時閉館 夏期及び冬期休館	令和6年度下半期～7年度上半期 2024年7月1日～2024年9月3日
無	35		

(3)利用者から休館日について要望の有無等について

①要望の有無	(件数)	②要望の内容	③要望への対応予定
有	0		
無	41		

4 令和5年度の施設運営に係る新型コロナウイルスの影響について

総回答者数 31

(1)新型コロナウイルスの影響による休館の有無等

①休館の有無	(件数)	②休館日数	③休館時期	
有	0	日	月から	月まで
無	41			

(2)中止となった事業について(次年度への延期も含む)。

①事業の有無	(件数)	②中止となった事業の件数
有	1	6件
無	40	

(3)事業形態の変更や規模を縮小した事業について

①事業の有無	(件数)	②変更となった事業の件数
有	3	6件
無	38	

(4)実施時期を延期した事業について

①事業の有無	(件数)	②延期となった事業の件数
有	0	0件
無	41	

5 県の文化芸術振興施策に対する意見や、他の文化施設と意見交換したい事項等(抜粋)

①意見等
<p>・令和5年度、当館事業(美術企画展)は、千葉県誕生150周年記念事業補助金の交付を受けて開催いたしました。新聞、テレビにも取り上げられた事からPR効果が大きく、観覧者数も目標を上回り、大変好評でした。事業が実現できましたことに、感謝申し上げます。</p>

※調査対象45施設(うち回答があった41施設について集計)

【柱1】あらゆる人々が文化芸術に親しむことができる環境づくり

～文化芸術活動を行う人々の自主性や専門性が尊重されるとともに、
障害の有無や年齢等に関わらず誰もが文化芸術活動を行い、鑑賞することができる環境を整備する～

「あらゆる人々」が文化芸術を鑑賞、又は文化芸術活動に参加することを目的とした展示・事業について

(1) 展示・事業実施の有無

	回答数(A)	割合%(A/B*100)
実施している	18	43.9
実施していない	23	56.1
計(B)	41	

【「実施している」の補足】エリア別回答数、割合

エリア	回答数(C)	割合%(C/実施*100)
ベイ	8	44.4
東葛飾	1	5.6
北総	4	22.2
九十九里	2	11.1
南房総	1	5.6
かずさ・臨海	2	11.1

【「実施している」の補足】事業の属性

事業の属性	回答数(C)	割合%(C/実施*100)
a. イベント(不特定多数が参加)	5	27.8
b. イベント(事前予約制/関係者のみ参加)	2	11.1
c. 教育機関への人員派遣・学生受け入れ	0	0.0
d. 舞台公演・コンサート	1	5.6
e. 講演会・研修会・シンポジウム	1	5.6
f. 作品の公募・展示	3	16.7
g. キャンペーン	0	0.0
h. 支援・助成制度(※人材育成を含む)	0	0.0
j. その他	6	33.3

(2)-1「実施している」場合の全体的な課題について(複数回答可)

	a. 事業予算が確保できない	b. 事業を企画・実施するための職員が不足している	c. 事業を企画・実施するためのノウハウが不足している	d. 長期的な視野に立った継続事業ができない。	e. 関係者・関係機関とのネットワークがない	f. 関係者・関係機関からの要望がない	g. 連携する関係者・関係機関が固定化し、新規連携が伸び悩んでいる	h. その他	計
回答数	9	8	2	2	1	0	2	2	26

【h.その他】の概要(抜粋)

・美術館部門の担当者が学芸員1名である。
・開館以来博物館で現代アートの展示やワークショップを展開しているが、実行委員会の顔ぶれに変化がなく、数年先を見越した計画も建て辛い状況にある。

(2)-2「実施していない」場合の理由について(複数回答可)

	a. 事業予算が確保できない	b. 事業を企画・実施するための職員が不足している	c. 事業を企画・実施するためのノウハウが不足している	d. 長期的な視野に立った継続事業ができない。	e. 関係者・関係機関とのネットワークがない	f. 関係者・関係機関からの要望がない	g. 連携する関係者・関係機関が固定化し、新規連携が伸び悩んでいる	h. その他	計
回答数	4	8	9	3	2	4	1	6	37

【h.その他】の概要(抜粋)

・「あらゆる人」に対し、特にハード面での対応が困難であるため(建物入口までの園路が急傾斜または階段であり、来場いただくこと自体、ハードルが高いように感じることがあります)
・歴史的建造物・庭園環境のため、従来以上のバリアフリー化は困難であり、車椅子のお客様には対応できることに限界があるが、それ以外の場合(たとえば杖など)には対応させて頂いている。

【柱1】あらゆる人々が文化芸術に親しむことができる環境づくり

～文化芸術活動を行う人々の自主性や専門性が尊重されるとともに、
障害の有無や年齢等に関わらず誰もが文化芸術活動を行い、鑑賞することができる環境を整備する～

「あらゆる人々」が文化芸術を鑑賞、又は文化芸術活動に参加することを目的とした事業について

(4) 代表的な事業事例(抜粋)

エリア	施設名	事業の名称	②事業の属性	③事業の概要	④連携団体(例:実行委員会の構成団体等)	⑤事業の開始年度	⑥終了(予定)年度	⑦令和5年度実施結果に対する評価(成果・課題等 100字程度まで)	⑨令和6年度の実施予定(予定、課題・対策等 100字程度まで)
ベイ	千葉県立美術館	彫刻に触れるとき	f.作品の公募・展示	筑波大学芸術学系と連携し、彫刻の特性を活かした、子どもから大人まで誰もが触れる鑑賞を楽しめる展示会。出品作品は全て触れることを前提とし、視覚のみならず触覚でも作品鑑賞ができる。	大学	2022		触れることのできる彫刻の展示会として、視覚障害者にも彫刻作品を楽しんでいただくべく実施した。あわせて館内の常設彫刻のメンテナンスと解説のワークショップ、彫刻制作のワークショップ、シンポジウムも開催し、視覚障害者だけでなく、身体障害者なども参加し、彫刻に親しむ機会となった。	今年度も彫刻作品を変え、展示会を実施する予定である。
	船橋市飛ノ台史跡公園博物館	縄文コンテンポラリー展	a.イベント(不特定多数が参加)	博物館と現代アートを中心としたアーティストとが、博物館を舞台に縄文をキーワードに夏休み期間を通じ作品展示やワークショップなどを実施し、広く市民に縄文に親しんでもらう取り組み。	縄文コンテンポラリー展実行委員会	2002		実行委員会のメンバー構成が変わらず、組織の新陳代謝が停滞しているため、予算措置を含め将来展望が掛け辛い事業となっている。しかしながら、博物館展示と現代アート作品の並列展示の先鞭をつけた事業としての一定の評価を得ている事実があることから、今後の事業展開について慎重な議論が求められる。	例年通り7月末～8月末までの夏休み期間中館内外での作品展示やワークショップを実施する予定。
	日本大学理工学部 科学技術史料センター	CSTミュージアム第19回特別展 測量は「国土の身体測定」	j.その他	測量技術は、土地の境界線を定める際に必要なだけでなく、さまざまな場面で私たちの生活を支え安全を守っていますが、その重要性はあまり知られていません。本展示では、主に測量道具を通じて、過去の偉人の大規模な事業や先進的な測量手法、そしてその重要性を知り、測量から広がる世界をご紹介します。	船橋市教育委員会	2023	2024	測量の道具や技術の変遷をたどりながら、それらが自分たちの生活にとても役立っていることがわかる内容になっており、「おもしろかった」という感想を多くいただいている。トイドローンの操作体験や地上絵GPS体験など、小学生から大人まで参加できる体験学習は参加者も多く、測量を身近に感じてもらえるよい機会になったと感じる。	引き続き「測る」をテーマに「測ってわかる(仮称)」を開催予定である。理工学分野で使われるさまざまな「測る道具」を紹介し、幅広い年齢層が理解できる展示内容とワークショップを考えている。広く社会に貢献できるよう広報に努め、多くの来場者を迎えられるようにしたい。
東葛飾	松戸市立博物館	企画展「あの日の”まつど”―写真でふりかえる150年―」	a.イベント(不特定多数が参加)	博物館開館30周年・千葉県誕生150周年・松戸市制施行80周年の節目にあたり、数多くの写真を中心とする市内に伝わる貴重な資料を展示し、松戸市域の明治から平成の歴史をふりかえった。		2023	2023	写真を中心に、文書・道具類・模型など様々な資料を用いて、明治から現代に至る市域の歴史や人々の生活の変化をたどることで、“郷土”についての思いを馳せる機会を提供し市内のみならず県外からも多くの方々にご来館いただいた。	企画展「異形土器 縄文時代の不思議なうつわ」
北総	成田山書道美術館	唐紙体験	b.イベント(事前予約制/関係者のみ参加)	唐紙の製作体験	さくら書道教室	2023	2023	実体験できる事業として好評価を得た。	特別展開催による関連事業のため、継続せず。
	伊能忠敬記念館	伊能忠敬記念館開館25周年特別展 「描かれた日本～伊能図焼失100年目の再会～」	j.その他	伊能図が焼失して100年目となる特別展の目玉は、2021年に新たに存在が確認された伊能小図の「實測興地圖」。さらに江戸時代の様々な日本地図や世界地図を展示し、絵図や地図の中に「描かれた日本」を紹介する。		2023	2023	ギャラリートークや専門家による関連講座も開催し、好評であった。	令和6年度は企画展を実施予定である。
	佐倉市立美術館	WALK ON THE EDGE 陶芸家 和田的 展	f.作品の公募・展示	佐倉に築窯し、日本伝統工芸展東京都知事賞や日本陶磁協会賞を受賞するなど、現代日本陶芸界の最前線で活躍する若手陶芸家 和田的の展示会。千葉県誕生150周年記念事業。		2023	2023	佐倉市在住の作家の活動を紹介するとともに、作家を育んだ地域の文化土壌への理解創出にも寄与することとなった。情報発信の強化が課題となっている。	絵本をテーマにした展示会のほか、市内ゆかりの作家の展示会等を開催する。
九十九里	茂原市立美術館・郷土資料館	美術収蔵品展	f.作品の公募・展示	当館では、常設展示という位置づけではなく、各美術収蔵品展にテーマを設定し、内容を絞った展示会を開催している。令和5年度は計8回の美術収蔵品展を開催した。また、バーチャルミュージアム映像として会場の映像配信も行い、誰もが鑑賞できる機会を提供した。		1994		各収蔵品展で、同じ作品を何度も展示しないよう、なるべく数年の間隔を空けて、展示サイクルを設定する点に、最も工夫している。入館者数は、新型コロナ以前に回復しつつある。	令和6年度には美術収蔵品展10回を開催予定で、今後も継続してゆく。
	城西国際大学水田美術館	展示会「indigo Blue Ocean by Leki x Occy ―藍と海が繋ぐ世界―」	a.イベント(不特定多数が参加)	本学卒業生の永原レキと真栄城興和はそれぞれの故郷、徳島と沖縄で、天然藍染作品の制作と藍染文化の普及に取り組んでいる。二人の作品を活動とともに紹介した。		2003		学生からさまざまな世代まで、多くの方々が来場した。	
南房総	館山市立博物館	企画展解説動画の制作・公開	j.その他	市立博物館において年3回実施した企画展について、広報用ショート動画1本、担当学芸員が概要・見どころを解説する動画(字幕入り)3本を制作・公開した。		2020		自宅・学校で使用できる学習ツールとして制作・公開した。字幕入りの動画は、聴覚障がい者の方からも理解しやすかったとの感想を得た。	年3回実施の企画展について、解説動画を制作・公開する予定。
かずさ・臨海	君津市立久留里城址資料館	長板中形-松原伸生の伝統と展開-	a.イベント(不特定多数が参加)	君津市在住で、江戸時代から続く型紙を使った防染技術「長板中形」の伝承者である松原伸生氏の技術と作品の魅力を紹介した。		2023	2023	展示会開催前に正式に人間国宝に認定された松原氏の技術のさらなる普及。	戦国時代の久留里城主里見義堯の没後450年を記念し、残された古文書などからその足跡、人物像に迫る。君津市域における義堯ゆかりの寺院や史跡もとりあげ、地域に伝わる逸話などを紹介する。
	市原歴史博物館	常設展示「東京湾と養老川が織りなす市原の歴史への旅」	j.その他	常設展示		2022		聴覚障害のある方への映像展示案内として、ナレーションを文字に起こして配ったり、視覚障害のある方には「触れる展示」の案内をしたところ、好評だった。	

※調査対象45施設(うち回答があった41施設について集計)

【柱2】ちばの多様な伝統文化が輝き続ける地域づくり ～県内各地で守られてきた伝統文化を地域で活用し、未来に継承する～

1 伝統的な文化や芸能を鑑賞・体験することを目的とした展示・事業について

(1) 展示・事業実施の有無

	回答数(A)	割合%(A/B*100)
実施している	21	51.2
実施していない	20	48.8
計(B)	41	

【「実施している」の補足】エリア別回答数、割合

エリア	回答数(C)	割合%(C/実施*100)
ベイ	10	47.6
東葛飾	2	9.5
北総	3	14.3
九十九里	1	4.8
南房総	3	14.3
かずさ・臨海	2	9.5

【「実施している」の補足】事業の属性

事業の属性	回答数(C)	割合%(C/実施*100)
a. イベント(不特定多数が参加)	7	33.3
b. イベント(事前予約制/関係者のみ参加)	2	9.5
c. 教育機関への人員派遣・学生受入れ	0	0.0
d. 舞台公演・コンサート	0	0.0
e. 講演会・研修会・シンポジウム	1	4.8
f. 作品の公募・展示	7	33.3
g. キャンペーン	0	0.0
h. 支援・助成制度(※人材育成を含む)	0	0.0
j. その他	4	19.0

(2)-1「実施している」場合の全体的な課題について(複数回答可)

	a. 事業予算が確保できない	b. 事業を企画・実施するための職員が不足している	c. 事業を企画・実施するためのノウハウが不足している	d. 長期的な視野に立った継続事業ができない。	e. 関係者・関係機関とのネットワークがない	f. 関係者・関係機関からの要望がない	g. 連携する関係者・関係機関が固定化し、新規連携が伸び悩んでいる	h. その他	計
回答数	7	11	4	5	0	0	1	4	32

【h.その他】の概要(抜粋)

- ・(館外の)職人や芸能継承者の人手・力量の不足
- ・郷土資料館部門の担当者が学芸員1名である。
- ・後継者の育成が課題となっている。
- ・新型コロナウイルス感染症まん延のため中止中、再開時期未定

(2)-2「実施していない」場合の理由について(複数回答可)

	a. 事業予算が確保できない	b. 事業を企画・実施するための職員が不足している	c. 事業を企画・実施するためのノウハウが不足している	d. 長期的な視野に立った継続事業ができない。	e. 関係者・関係機関とのネットワークがない	f. 関係者・関係機関からの要望がない	g. 連携する関係者・関係機関が固定化し、新規連携が伸び悩んでいる	h. その他	計
回答数	3	9	3	5	1	2	0	3	26

【h.その他】の概要(抜粋)

- ・関連性のある展覧会がなかった

2 伝統的な文化や芸能の後継者を育成することを目的とした展示・事業について

(1) 展示・事業実施の有無

	回答数(A)	割合%(A/B*100)
実施している	4	9.8
実施していない	37	90.2
計(B)	41	

【「実施している」の補足】エリア別回答数、割合

エリア	回答数(C)	割合%(C/実施*100)
ベイ	3	75.0
東葛飾	0	0.0
北総	0	0.0
九十九里	1	25.0
南房総	0	0.0
かずさ・臨海	0	0.0

【「実施している」の補足】事業の属性

事業の属性	回答数(C)	割合%(C/実施*100)
a. イベント(不特定多数が参加)	0	0.0
b. イベント(事前予約制/関係者のみ参加)	1	25.0
c. 教育機関への人員派遣・学生受入れ	1	25.0
d. 舞台公演・コンサート	0	0.0
e. 講演会・研修会・シンポジウム	1	25.0
f. 作品の公募・展示	0	0.0
g. キャンペーン	0	0.0
h. 支援・助成制度(※人材育成を含む)	0	0.0
j. その他	1	25.0

(2) -1 「実施している」場合の全体的な課題について(複数回答可)

	a. 事業予算が確保できない	b. 事業を企画・実施するための職員が不足している	c. 事業を企画・実施するためのノウハウが不足している	d. 長期的な視野に立った継続事業ができない。	e. 関係者・関係機関とのネットワークがない	f. 関係者・関係機関からの要望がない	g. 連携する関係者・関係機関が固定化し、新規連携が伸び悩んでいる	h. その他	計
回答数	2	2	1	1	0	0	0	2	8

【h.その他】の概要(抜粋)

・後継者の育成

(2) -2 「実施していない」場合の理由について(複数回答可)

	a. 事業予算が確保できない	b. 事業を企画・実施するための職員が不足している	c. 事業を企画・実施するためのノウハウが不足している	d. 長期的な視野に立った継続事業ができない。	e. 関係者・関係機関とのネットワークがない	f. 関係者・関係機関からの要望がない	g. 連携する関係者・関係機関が固定化し、新規連携が伸び悩んでいる	h. その他	計
回答数	8	18	6	9	1	2	1	7	52

【h.その他】の概要(抜粋)

・事業自体は行っていないが、年中行事を守り伝えることで次世代へ伝えていくつもりで行っている。
 ・設立趣旨に合致していない

【柱2】ちばの多様な伝統文化が輝き続ける地域づくり

～県内各地で守られてきた伝統文化を地域で活用し、未来に継承する～

1 伝統的な文化や芸能を鑑賞・体験することを目的とした事業について

(4) 代表的な事業事例(抜粋)

エリア	施設名	事業の名称	②事業の属性	③事業の概要	④連携団体(例:実行委員会の構成団体等)	⑤事業の開始年度	⑥終了(予定)年度	⑦令和5年度実施結果に対する評価(成果・課題等 100字程度まで)	⑨令和6年度の実施予定(予定、課題・対策等 100字程度まで)
ベイ	千葉市立加曾利貝塚博物館	あれもEこれもE	j.その他	大正13年、加曾利貝塚の発掘調査ではじめて発見された「加曾利E式」土器は、その後、関東の縄文時代中期を代表する土器型式として認識されている。平成30年度よりスタートしたE式土器をテーマとした展示「あれもEこれもE」は、千葉市内編・印旛地域編・北西部地域編・千葉市内編2・内房編・外房地域編と、県内各地の資料の紹介・展示を行ってきた。令和6年度の総括編をもって、終了となる予定である。		2018	2024	新たな試みとして土器の人気投票を実施した。「推し土器」に対する様々な意見が寄せられ、おもしろい取り組みであったと思う。	平成30年度よりスタートした「あれもEこれもE」の総括展示を行う予定。
	八千代市立郷土博物館	やちよの民俗行事	b.イベント(事前予約制/関係者のみ参加)	市内で継承されている民俗行事の体験を通して、民俗行事の持つ意味ややり方を理解してもらい、昔の生活や文化に興味を深める。		2015			
	浦安市郷土博物館	伝統芸能・伝統技術の公開及び体験	j.その他	千葉県・浦安市の指定文化財である浦安お洒落保存会・浦安囃子保存会・浦安細川流投網保存会の活動の公開・体験をとおし、市民が文化芸術に触れられる機会を提供している。	浦安お洒落保存会・浦安囃子保存会・浦安細川流投網保存会	2001		博物館での公開練習や事業協力、各種公演への出演をとおして、多くの市民や来館者に浦安の伝統文化を紹介する機会を得ることができた。	令和5年度同様に、公開練習や博物館での事業を通し、伝統文化の紹介・継承を行っていく。
	千葉経済大学地域経済博物館	令和5年度特別展「海を守る！房総海防史」	a.イベント(不特定多数が参加)	外房地域に残された資料を中心に、幕末の房総半島に迫り来る対外的危機に人びとがいかに対応したのかを紹介。	なし	2010	なし	本展示では、展示という形を通して千葉の歴史事象を分かりやすく示すことができた。またアンケート結果からは、普段の生活では知ることのできない地域の歴史を取り上げたことで、千葉の歴史に改めて興味・関心を持ってもらうきっかけとなったことがうかがえた。	前年度同様、千葉県の地域史をテーマに開催予定。
東葛飾	上花輪歴史館	端午の節句飾り	a.イベント(不特定多数が参加)	伝来の、また、新規収蔵の端午の節句飾りを、館内(主に住宅棟)に展示する。伝来の鯉のぼり矢車・蛇籠などは入館者全員が見られる場所に設置。住宅棟では250～90年前の屋敷空間における室礼として鑑賞していただく。	無し			例年に増して、雨天が多く、湿気対策として雨戸を開けられなかったり、伝来鯉のぼりの曝涼を行うことができなかった。	例年通り、5月下旬～6月5日に開催しているが、近年の天候を踏まえ、令和6年度はGWの天候の良い時期に鯉のぼり曝涼を行った。
北総	大原幽学記念館	特別展 榑海干拓350周年記念 干潟八万石物語	a.イベント(不特定多数が参加)	榑海の干拓事業が、延宝元年(1673)に惣堀工事が完了から350年となることを記念し、近世初期の大規模新田開発として知られる榑新田干拓の歴史を伝える記録を中心に、干拓から水とのたたかいは経て干潟八万石と呼ばれる一大農業生産地となるまでの歩みを、歴史資料やパネルで紹介する。		2023	2024	千葉県誕生150周年記念事業の一つとして実施し、広報に協力いただいた結果、県内外から来館。好評。	企画展を実施予定
九十九里	茂原市立美術館・郷土資料館	郷土資料館テーマ展・市史編さん事業展示・常設展示	f.作品の公募・展示	年2回のテーマ展、年2回の常設展示の開催により、郷土の歴史、文化に触れていただき、郷土愛の醸成に寄与する。 令和5年度のテーマ展は、市史編さん事業展示「茂原の自由民権運動―斉藤自治夫(じちふ)と板倉中(なかば)―」、「明治～昭和のくらしの道具展」		1994		展示内容が都度変更となるため、展示資料の形状等と、会場設備の制約から、陳列に工夫を凝らしている。入館者数は、新型コロナ以前に回復しつつある。	年2回のテーマ展、年2回の常設展示の開催を継続してゆく。令和6年度のテーマ展は、市史編さん事業展示「(仮称)茂原市内の古墳時代―国府関夏身遺跡、中原遺跡、山崎横穴群等―」、「(仮)遊び道具の歴史をたどる」を予定。
南房総	塚本美術館	日本刀の展示	f.作品の公募・展示	千葉県で活動している刀匠や千葉県出身の刀匠の作品を展示				佐倉市やJRとの連携により、県内外から多くの来館者があった。	日本の伝統文化である日本刀の発展に引き続き尽力していく。
	館山市立博物館	講演会「新たに重要文化財となった小網寺の密教法具と柄香炉」	e.講演会・研修会・シンポジウム	新たに国の重要文化財に指定された市内小網寺の金銅密教法具と県指定の柄香炉について、専門家を講師として招き、講演会を実施した(対面およびオンライン)。	市生涯学習課	2023	2023	市内の寺院に伝わる貴重な文化財について、参加者が理解を深めることができた。	講演会の実施予定なし。
かずさ・臨海	木更津市郷土博物館金のすず	郷土文化伝承体験講座	b.イベント(事前予約制/関係者のみ参加)	正月飾り作りや味噌作りなど、郷土文化の伝承を目的として外部講師(地元の方)を依頼して実施。		2009		参加者が「手作り」の喜びや、先人の知恵を知る機会となった。一方、講師の高齢化により、事業の継続方法を検討する時期を迎えている。	前年と同規模で実施予定。
	市原歴史博物館	伝統技術ワークショップ	a.イベント(不特定多数が参加)	プロの左官職人の方による、左官道具の説明や土壁塗りの実演を交えながら、土壁塗りを体験		2022		伝統的な建物のつくりや土壁塗りの技術に触れ関心を持つ機会を創出できた。	同様の事業を実施予定。

2 伝統的な文化や芸能の後継者を育成することを目的とした事業について

(4) 代表的な事業事例(抜粋)

エリア	施設名	事業の名称	②事業の属性	③事業の概要	④連携団体(例:実行委員会の構成団体等)	⑤事業の開始年度	⑥終了(予定)年度	⑦令和5年度実施結果に対する評価(成果・課題等 100字程度まで)	⑨令和6年度の実施予定(予定、課題・対策等 100字程度まで)
ベイ	市立市川考古博物館	組紐ボランティア養成講座	b.イベント(事前予約制/関係者のみ参加)	1000年以上昔にさかのぼる組紐古技法「クテ打」を伝承し、博物館活動を通じて広く普及するボランティアを養成する(第六期)。	組紐ボランティア	2013		今年度の参加者のうち2人がボランティアとして定着し、普及活動に貢献している。また、今回から第五期生までの現役ボランティアが第六期生の育成に携わりはじめて、ボランティアが相互に教えあう土壌ができつつある。	同様の体制で実施する。
	浦安市郷土博物館	伝統芸能・伝統技術の公開及び体験	j.その他	千葉県・浦安市の指定文化財である浦安お洒落保存会・浦安囃子保存会・浦安細川流投網保存会の活動の公開・体験をとおし、市民が文化芸術に触れられる機会を提供している。	浦安お洒落保存会・浦安囃子保存会・浦安細川流投網保存会	2001		博物館での公開練習や事業協力、各種公演への出演をとおして、多くの市民や来館者に浦安の伝統文化を紹介する機会を得た。子供向けの体験講座の開催やSNSでの活動紹介を通し、後継者の育成・団体の新規会員募集に努めることができた。	令和5年度同様に、公開練習や博物館での事業を通し、伝統文化の紹介・継承を行っていく。
九十九里	茂原市立美術館・郷土資料館	歴史セミナー・古文書講座・市史編さん事業講演会	e.講演会・研修会・シンポジウム	郷土の歴史、文化に関連のある内容で、各分野に精通した講師を招き、講演会を開催。歴史セミナーは、第1回「『茂原市史資料編』刊行記念」茂原市内の遺跡から見る人々の暮らし」、第2回「市史編さん事業展示 茂原の自由民権運動ー斉藤自治夫(じちふ)と板倉中(なかば)ー」、第3回「上総一宮藩の海防政策と九十九里地域」の計3回、古文書講座は計5回、市史編さん事業講演会「市内に残る近代建造物」を開催。		1994		より多くの方々に参加いただくため、より広い会場(中央公民会・市役所)に場所を移して開催している。郷土の歴史を学び、郷土愛を育む上で、有意義な事業といえる。	令和6年度は、歴史セミナー「(仮)儒学者荻生徂徠の歩んだ生涯」等の計3回、「親子で学ぶ歴史講座」計1回、古文書講座計5回を開催予定。今後も継続してゆく。

※調査対象45施設(うち回答があった41施設について集計)

【柱3】新たな文化芸術の価値を創造できる社会づくり ～観光、まちづくり、国際交流、福祉、教育、産業等、他分野との連携により文化芸術が社会の様々な場面で輝く機会を創出する～

1 観光・地域産業・福祉・教育等の様々な分野と連携した事業について

(1) 展示・事業実施の有無

	回答数(A)	割合%(A/B*100)
実施している	23	56.1
実施していない	18	43.9
計(B)	41	

【「実施している」の補足】エリア別回答数、割合

エリア	回答数(C)	割合%(C/実施*100)
ベイ	10	43.5
東葛飾	4	17.4
北総	3	13.0
九十九里	2	8.7
南房総	3	13.0
かずさ・臨海	1	4.3

【「実施している」の補足】事業の属性

事業の属性	回答数(C)	割合%(C/実施*100)
a. イベント(不特定多数が参加)	8	34.8
b. イベント(事前予約制/関係者のみ参加)	6	26.1
c. 教育機関への人員派遣・学生受入れ	2	8.7
d. 舞台公演・コンサート	0	0.0
e. 講演会・研修会・シンポジウム	2	8.7
f. 作品の公募・展示	4	17.4
g. キャンペーン	1	4.3
h. 支援・助成制度(※人材育成を含む)	0	0.0
j. その他	0	0.0

(2)-1「実施している」場合の全体的な課題について(複数回答可)

	a. 事業予算が確保できない	b. 事業を企画・実施するための職員が不足している	c. 事業を企画・実施するためのノウハウが不足している	d. 長期的な視野に立った継続事業ができない。	e. 関係者・関係機関とのネットワークがない	f. 関係者・関係機関からの要望がない	g. 連携する関係者・関係機関が固定化し、新規連携が伸び悩んでいる	h. その他	計
回答数	3	9	1	5	0	0	1	2	21

【h.その他】の概要(抜粋)

・文化財としての活用制限について、観光所管部局との認識共有が必要

(2)-2「実施していない」場合の理由について(複数回答可)

	a. 事業予算が確保できない	b. 事業を企画・実施するための職員が不足している	c. 事業を企画・実施するためのノウハウが不足している	d. 長期的な視野に立った継続事業ができない。	e. 関係者・関係機関とのネットワークがない	f. 関係者・関係機関からの要望がない	g. 連携する関係者・関係機関が固定化し、新規連携が伸び悩んでいる	h. その他	計
回答数	4	8	5	3	2	1	0	0	23

【h.その他】の概要(抜粋)

2 海外関係(現地展開・訪問、受入、イベント等)展示・事業について

(1) 展示・事業実施の有無

	回答数(A)	割合%(A/B*100)
実施している	2	4.9
実施していない	39	95.1
計(B)	41	

【「実施している」の補足】エリア別回答数、割合

エリア	回答数(C)	割合%(C/実施*100)
ベイ	0	0.0
東葛飾	1	50.0
北総	0	0.0
九十九里	0	0.0
南房総	1	50.0
かずさ・臨海	0	0.0

【「実施している」の補足】事業の属性

事業の属性	回答数(C)	割合%(C/実施*100)
a. イベント(不特定多数が参加)	1	50.0
b. イベント(事前予約制/関係者のみ参加)	0	0.0
c. 教育機関への人員派遣・学生受入れ	0	0.0
d. 舞台公演・コンサート	0	0.0
e. 講演会・研修会・シンポジウム	0	0.0
f. 作品の公募・展示	1	50.0
g. キャンペーン	0	0.0
h. 支援・助成制度(※人材育成を含む)	0	0.0
j. その他	0	0.0

(2) -1 「実施している」場合の全体的な課題について(複数回答可)

	a. 事業予算が確保できない	b. 事業を企画・実施するための職員が不足している	c. 事業を企画・実施するためのノウハウが不足している	d. 長期的な視野に立った継続事業ができない。	e. 関係者・関係機関とのネットワークがない	f. 関係者・関係機関からの要望がない	g. 連携する関係者・関係機関が固定化し、新規連携が伸び悩んでいる	h. その他	計
回答数	0	1	1	1	0	0	0	1	4

【h.その他】の概要(抜粋)

・他部署との連携事業だが、毎年、実行委員会及び担当事業者が過密スケジュールでの準備に終始しており、主催者ではない当館が本来分担以上の業務負担を担っている。

(2) -2 「実施していない」場合の理由について(複数回答可)

	a. 事業予算が確保できない	b. 事業を企画・実施するための職員が不足している	c. 事業を企画・実施するためのノウハウが不足している	d. 長期的な視野に立った継続事業ができない。	e. 関係者・関係機関とのネットワークがない	f. 関係者・関係機関からの要望がない	g. 連携する関係者・関係機関が固定化し、新規連携が伸び悩んでいる	h. その他	計
回答数	11	16	12	6	7	7	0	2	61

【h.その他】の概要(抜粋)

・財政上困難。職員の不足。

【柱3】新たな文化芸術の価値を創造できる社会づくり

～観光、まちづくり、国際交流、福祉、教育、産業等、他分野との連携により文化芸術が社会の様々な場面で輝く機会を創出する～

1 観光・地域産業・福祉・教育等の様々な分野と連携した事業について

(4) 代表的な事業事例(抜粋)

エリア	施設名	事業の名称	②事業の属性	③事業の概要	④連携団体(例:実行委員会の構成団体等)	⑤事業の開始年度	⑥終了(予定)年度	⑦令和5年度実施結果に対する評価(成果・課題等 100字程度まで)	⑨令和6年度の実施予定(予定、課題・対策等 100字程度まで)
ベイ	船橋市郷土資料館	企画展「私たちのまなびや」	a. イベント(不特定多数が参加)	株式会社myふなばし(特にライター)、市立小学校の栄養教諭、市立特別支援学校教諭の協力を得て、展示およびワークショップの内容を考えた。	株式会社myふなばし	2023	2023	市内の各教育機関との連携を通して、今後の事業や学校教育につながる関係構築のきっかけになった。反面、多人数の協力者との連絡調整に時間を取られたことは課題。早期の事前準備の重要性を感じた。	令和6年度は「食」についての企画展事業を行う予定であり、前年度に協力をあおいだ栄養教諭などへの協力依頼を含めて事業を進める。前年度の課題をふまえ、早期からの準備を進めている。
	千葉県立美術館	地域連携ワークショップ	a. イベント(不特定多数が参加)	近隣商業施設や市役所、公共施設等が集まり、千葉みなと地区の活性化のために、さんばしひろばで年に数回各種イベントを実施する。その中でワークショップブースを出し、近隣住民への美術館の周知と創作の楽しさを伝える場を作っている。	千葉みなと活性化協議会	2017		コロナ前の文化の日の大漁祭りの缶バッジづくりワークショップから、12月のクリスマスマーケットのワークショップに移動し、クリスマスオーナメントづくりの行い、大盛況だった。	今年度もクリスマスマーケットの実施が決定すれば、参加する予定である。
	浦安市郷土博物館	博学連携事業	c. 教育機関への人員派遣・学生受け入れ	浦安市郷土博物館の基本コンセプトの一つである「学校教育に活かせる博物館」を指標として、学校と連携した体験活動・出前講座を行っている。		2001		市立全小学校3年生が「昔のくらし体験」を、小学校4年生が「海苔すき体験」を実施したほか、幼稚園・認定こども園・保育園の体験活動、中学生の職場体験等を実施し、博物館での体験、学校への出前授業、博物館収蔵品を活用した授業、ホームページの動画や資料を活用した授業等、博学連携の形の多様化とその充実が図られてきた。	令和5年度に引き続き事業を実施し、活動の充実に努めていく。
東葛飾	松戸市戸定歴史館・戸定邸	戸定アートプロジェクト2023 四萬六千日献灯 松戸宿坂川献灯まつり 松龍寺光のアート	a. イベント(不特定多数が参加)	地元企業で構成される「実行委員会」と連携・協力し、まつり会場の一部で地元アーティストの監修によるインスタレーション展示を行い、地域の魅力発見に貢献する。	松戸宿坂川献灯まつり実行委員会	2007		地域住民への周知が高まっている一方で、主催事業ではないため、事業の進捗や連絡体制に課題が残る。一方で、同展示内で子どもを対象としたワークショップを行い、予定時間を大幅に超過して参加希望者を受け入れたほど好評だった。	光のアート(インスタレーション展示)とワークショップを開催する。主催事業ではないため、引き続き事業の進捗や連絡体制に課題が残る。
北総	成田山書道美術館	千葉県高校書道部会研修会	b. イベント(事前予約制/関係者のみ参加)	千葉県内高校の書道教諭を対象とした研修会	千葉県高校書道部会	2021		好評価を得ているが、新たなテーマの創出が課題	未定
	大原幽学記念館	幽学の里で米づくり交流事業	b. イベント(事前予約制/関係者のみ参加)	史跡大原幽学遺跡の水田で、田植えから収穫までの米づくり体験や里山の生きもの調査などを通して「食と農」をテーマに都市住民との交流を図る。	旭市農漁村交流協議会	2007		普段の生活ではできない体験ができると、好評。	令和5年度同様に実施予定
九十九里	茂原市立美術館・郷土資料館	茂原七夕まつり連携企画 「茂原市立美術館・郷土資料館ポストカードプレゼント」	a. イベント(不特定多数が参加)	茂原七夕まつり期間中、茂原七夕まつりの来客を当館へ呼び込む企画として、来館者へ、茂原市立美術館・郷土資料館ポストカードをプレゼントするイベント。かつては、2日間で60枚を配付したが、今回は2日間で100枚に増やして実施した。	茂原七夕まつり実行委員会	2014		茂原七夕まつりが4年振りの開催となり、ポストカードのプレゼント配付枚数を増やして実施し、コロナ禍以前よりも参加者が増加した。	今後も同内容のイベントを継続してゆく。
南房総	館山市立博物館	テーマ展示「安房のおりなす未来の風 房州うちわ技の伝承展」	f. 作品の公募・展示	館山市雇用商工課・房州うちわ振興協議会との連携により、市立博物館分館(「渚の駅」たてやま内)において、房州うちわの製品や制作道具等の展示を行った(会期:令和5年5月30日～令和6年4月14日)。	館山市雇用商工課・房州うちわ振興協議会	2023	2023	当地域の伝統工芸である房州うちわについて、市外・県外の観覧者に対して広く伝えることができた。	市立博物館本館および分館において、安房地域の歴史・民俗・文化をテーマとした企画展・テーマ展を開催予定。
かずさ・臨海	市原歴史博物館	フィールドミュージアム活用事業	a. イベント(不特定多数が参加)	市原歴史博物館で作成しているフィールドマップを活用した歴史遺産巡り	市民活動団体	2022		市原歴史博物館で作成しているフィールドマップを活用した歴史遺産巡りを実施していることで、歴史遺産の価値と魅力の再発見につながった。	令和5年度同様実施予定。

2 海外関係(現地展開・訪問、受入、イベント等)展示・事業について

(4) 代表的な事業事例(抜粋)

エリア	施設名	事業の名称	②事業の属性	③事業の概要	④連携団体(例:実行委員会の構成団体等)	⑤事業の開始年度	⑥終了(予定)年度	⑦令和5年度実施結果に対する評価(成果・課題等 100字程度まで)	⑨令和6年度の実施予定(予定、課題・対策等 100字程度まで)
東葛飾	松戸市戸定歴史館・戸定邸	科学と芸術の丘	a. イベント(不特定多数が参加)	オーストリア・リンツ市に拠点を置く文化団体「アルス・エレクトロニカ」と松戸市が連携し、先端科学を用いたアート作品を、国指定重要文化財「戸定邸」などに展開するアートイベント。	科学と芸術の丘実行委員会	2018		周知度合いは年々高まっているが、来場者増に対して、受け入れ態勢をどう整えるのかが課題である。とはいえ、未就学児を連れた家族を中心に千人規模の集客を記録しているほか、地元店舗との協力なども積極的に行い、地域密着型イベントとして定着してきている。	10月に開催予定。毎年、実行委員会及び担当事業者が過密スケジュールでの準備に終始しており、主催者ではない当館が本来分担以上の業務負担を担っているため、マニュアル作成など実効性の高い改善策を求めたい。

※調査対象45施設(うち回答があった41施設について集計)

【柱4】次代を担う子どもや若者がちばの文化芸術に触れる機会づくり

～新たな文化芸術の担い手となる子ども・若者に文化芸術に触れる機会を創出する～

1. 「子ども・若者」が文化芸術を鑑賞、又は文化芸術活動に参加することを目的とした展示・事業について

(1) 展示・事業実施の有無

	回答数(A)	割合%(A/B*100)
実施している	29	70.7
実施していない	12	29.3
計(B)	41	

【「実施している」の補足】エリア別回答数、割合

エリア	回答数(C)	割合%(C/実施*100)
ベイ	9	31.0
東葛飾	6	20.7
北総	7	24.1
九十九里	2	6.9
南房総	3	10.3
かずさ・臨海	2	6.9

【「実施している」の補足】事業の属性

事業の属性	回答数(C)	割合%(C/実施*100)
a. イベント(不特定多数が参加)	9	31.0
b. イベント(事前予約制/関係者のみ参加)	3	10.3
c. 教育機関への人員派遣・学生受入れ	4	13.8
d. 舞台公演・コンサート	3	10.3
e. 講演会・研修会・シンポジウム	1	3.4
f. 作品の公募・展示	5	17.2
g. キャンペーン	0	0.0
h. 支援・助成制度(※人材育成を含む)	0	0.0
j. その他	4	13.8

(2)-1「実施している」場合の全体的な課題について(複数回答可)

	a. 事業予算が確保できない	b. 事業を企画・実施するための職員が不足している	c. 事業を企画・実施するためのノウハウが不足している	d. 長期的な視野に立った継続事業ができない。	e. 関係者・関係機関とのネットワークがない	f. 関係者・関係機関からの要望がない	g. 連携する関係者・関係機関が固定化し、新規連携が伸び悩んでいる	h. その他	計
回答数	6	16	3	3	1	1	2	2	34

【h.その他】の概要(抜粋)

・毎年特定の学校(2校)の研修(見学)受け入れを行っているが、より多くの学校に来館いただけるよう開拓が必要である。
 ・後継者の育成が課題となっている。

(2)-2「実施していない」場合の理由について(複数回答可)

	a. 事業予算が確保できない	b. 事業を企画・実施するための職員が不足している	c. 事業を企画・実施するためのノウハウが不足している	d. 長期的な視野に立った継続事業ができない。	e. 関係者・関係機関とのネットワークがない	f. 関係者・関係機関からの要望がない	g. 連携する関係者・関係機関が固定化し、新規連携が伸び悩んでいる	h. その他	計
回答数	4	5	1	3	0	3	0	2	18

【h.その他】の概要(抜粋)

・連携の相手方であった学校の担当教員の異動により、事業継続が不可能になった。

2.若者による文化芸術活動の支援を目的とした展示・事業について

(1) 展示・事業実施の有無

	回答数(A)	割合%(A/B*100)
実施している	5	12.2
実施していない	36	87.8
計(B)	41	

【「実施している」の補足】エリア別回答数、割合

エリア	回答数(C)	割合%(C/実施*100)
ベイ	2	40.0
東葛飾	0	0.0
北総	1	20.0
九十九里	1	20.0
南房総	0	0.0
かずさ・臨海	1	20.0

【「実施している」の補足】事業の属性

事業の属性	回答数(C)	割合%(C/実施*100)
a. イベント(不特定多数が参加)	0	0.0
b. イベント(事前予約制/関係者のみ参加)	1	20.0
c. 教育機関への人員派遣・学生受入れ	1	20.0
d. 舞台公演・コンサート	0	0.0
e. 講演会・研修会・シンポジウム	0	0.0
f. 作品の公募・展示	3	60.0
g. キャンペーン	0	0.0
h. 支援・助成制度(※人材育成を含む)	0	0.0
j. その他	0	0.0

(2) -1 「実施している」場合の全体的な課題について(複数回答可)

	a. 事業予算が確保できない	b. 事業を企画・実施するための職員が不足している	c. 事業を企画・実施するためのノウハウが不足している	d. 長期的な視野に立った継続事業ができない。	e. 関係者・関係機関とのネットワークがない	f. 関係者・関係機関からの要望がない	g. 連携する関係者・関係機関が固定化し、新規連携が伸び悩んでいる	h. その他	計
回答数	2	2	0	0	0	0	0	2	6

【h.その他】の概要(抜粋)

・(学校の卒業展において)生徒数の減少により作業労力が掛かりすぎる傾向にある。
 ・美術館部門の担当者が学芸員1名である。

(2) -2 「実施していない」場合の理由について(複数回答可)

	a. 事業予算が確保できない	b. 事業を企画・実施するための職員が不足している	c. 事業を企画・実施するためのノウハウが不足している	d. 長期的な視野に立った継続事業ができない。	e. 関係者・関係機関とのネットワークがない	f. 関係者・関係機関からの要望がない	g. 連携する関係者・関係機関が固定化し、新規連携が伸び悩んでいる	h. その他	計
回答数	6	14	11	7	3	9	0	1	51

【h.その他】の概要(抜粋)

他(館)に担当がある。

【柱4】次代を担う子どもや若者がちばの文化芸術に触れる機会づくり

～新たな文化芸術の担い手となる子ども・若者に文化芸術に触れる機会を創出する～

1. 「子ども・若者」が文化芸術を鑑賞、又は文化芸術活動に参加することを目的とした展示・事業について

(4) 代表的な事業事例(抜粋)

エリア	施設名	事業の名称	②事業の属性	③事業の概要	④連携団体(例:実行委員会の構成団体等)	⑤事業の開始年度	⑥終了(予定)年度	⑦令和5年度実施結果に対する評価(成果・課題等 100字程度まで)	⑧令和6年度の実施予定(予定、課題・対策等 100字程度まで)
ベイ	千葉県立加曾利貝塚博物館	夏休み子供向け企画展	j.その他	夏休み期間中の小中学生を対象として、縄文時代をわかりやすく解説することで、加曾利貝塚への興味の周知の向上や千葉市に所在する遺跡などの重要性を広く理解してもらうことを目的としている。		2017		展示の見どころ・ポイントについて、加曾利貝塚PR大使かそりーぬが説明するなど、子供にとって分かりやすい内容を心掛けた。	令和6年度も引き続き実施予定である。
ベイ	市立市川考古博物館	縄文出張授業	e.講演会・研修会・シンポジウム	学芸員が実物資料を持参して学校を訪問し、資料を見せながら縄文時代や貝塚を詳しく説明する。以前は来館型を主としていたが、コロナ禍を契機に出張型を原則としている。		2002		19校で実施した。学習効果が高い来館型の復活が次年度の課題である。	今年度と同様に実施する。
ベイ	市立市川歴史博物館	縄文体験フェスティバル	a.イベント(不特定多数が参加)	地域密着型の縄文時代に関する体験型のイベントが中心で、当館では子ども向けに、火打石・紋切り・お手玉の体験を実施した。	博物館友の会	2000		昨年度が雨天のため、体験スペースが減られるなどイベント自体に支障があったが、今年度は好天に恵まれ、予定通りイベントが実施できた。	今年度も実施予定。新たな体験を実施する予定であるが、スペース面で工夫をする必要がある。
東葛飾	松戸市立博物館	縄文人なりきり宿泊体験！ 竪穴住居に泊まろう！	b.イベント(事前予約制/関係者のみ参加)	松戸市立博物館「野外展示・縄文の森」に展示されている復元竪穴住居に宿泊し、普段生活から離れた緑豊かな自然の森の中で子どもたちが自主性をもった活動を行うとともに、縄文時代の人びとの暮らしを体験し歴史に対し興味を創出する場を目的とする。		2022		宿泊体験の目的である、歴史を身近に感じてほしい、歴史に対する理解や興味関心、学習意欲の向上を目指すことについて達成することができた。事前説明会を実施したことで、保護者のみならず、子どもたちが体験内容を理解していたことで、戸惑いなく様々なことに挑戦し、充実した時間を過ごすことが出来た。	引き続き実施する。
	千葉県立関宿城博物館	夏休み子どもスケッチ	a.イベント(不特定多数が参加)	館内の大型展示物である高瀬舟をスケッチしてもらう。	関宿城博物館友の会	2018		多くの入館者に参加してもらえた。今後は、絵の指導まで深められたらよい。	夏休み期間中に実施を予定している
北総	航空科学博物館	こうくうキッズアート展	f.作品の公募・展示	小学生までのお子様から航空機に関する作品を募集し、館内に展示。	なし	2010		コロナによるホームステイがあった昨年よりも個人参加者数は減ってしまったが、今年も小学校や放課後デイサービス等の団体での参加があった。	今年度も実施予定(夏頃)
	芝山町立芝山古墳・はにわ博物館	第38回芝山はにわ祭	a.イベント(不特定多数が参加)	現代の人々が忘れていた古代の心の豊かさや素晴らしさを振り返り、また思い起こすために1982年から始まった町内最大の祭。地元の小・中学生等が古代人に扮し、殿塚古墳・姫塚古墳をはじめ、芝山仁王尊・芝山公園等で儀式やパレードを実施。例年11月第2日曜日に実施。	芝山はにわ祭実行委員会	1982		新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付け変更により、例年の通常開催の形態に戻ったことにより、博物館も無料開放や体験教室等のイベントを実施した結果、当日の来館者はコロナ禍前の水準近くまで回復。	令和5年度に引き続き通常開催となることから、関係機関と連携してイベントの新規追加や規模拡大を検討。
	DIC川村記念美術館	美術教育サポート	j.その他	いつもの教室を美術館の展示室に移して、本物の絵画や彫刻を前に鑑賞教育の授業です。展示作品を前にして先生が司会役となり、生徒同士が作品について自由に話し合う授業をお手伝いする「美術教育サポート」を実施しました。		2008		県内の小学校・中学校・高等学校5校を受け入れ計157名が教育サポートを受講した。	2008年から実施継続しており、事業継続のうえで、ガイドスタッフ育成を継続的に行う。
九十九里	茂原市立美術館・郷土資料館	第1回 もばら子どもギャラリー	f.作品の公募・展示	茂原市内の0歳～小学6年生までの子どもたちからの公募作品をすべて展示する展覧会。バーチャルミュージアム映像として会場の映像配信も行った。		2023		作品を公募して展示するという、初の試みであったが、53点の出品があり、バーチャルミュージアム映像の再生回数もすぐに200回を超え、好調であった。	令和6年度は、0歳～中学3年生まで対象範囲を広げ、同様に開催し、継続してゆく予定。
南房総	館山市立博物館	なつやすみ宿題大作戦～関東大震災を調べよう！～	b.イベント(事前予約制/関係者のみ参加)	夏休み期間における小学生の地域学習をサポートする講座を市図書館と共同で毎年開催しており、令和5年度は発生から100年となる関東大震災をテーマとした。	館山市図書館	2016		図書館司書が本を使った調べ方をサポート、博物館学芸員が関係資料や展示により震災の被害や対応策を説明することで学びを深めることができた。	引き続き実施予定。
南房総	鴨川シーワールド	クリスマスイベント 鴨川少年少女合唱団によるXmasミニコンサート	d.舞台公演・コンサート	マリシアター(ペルーガパフォーマンス会場)にて鴨川少年少女合唱団によるXmasミニコンサートをパフォーマンスの合間を縫って実施		2000		概ね好評であった。	実施予定
かずさ・臨海	鋸山美術館(旧金谷美術館)	富津児童作品展	f.作品の公募・展示	市内小学校より作品の公募を受け、審査、表彰を行う	MOA美術館など	2018	2023	市内7つの小学校が参画した。応募数259作品。展示は昨年よりイオンモール富津内の私立図書館脇にて行う。協賛企業も6社で継続して開催していける環境が整った	今年度も12月に実施予定

2.若者による文化芸術活動の支援を目的とした展示・事業について

【15】

(4)代表的な事業事例(抜粋)

エリア	施設名	事業の名称	②事業の属性	③事業の概要	④連携団体(例:実行委員会の構成団体等)	⑤事業の開始年度	⑥終了(予定)年度	⑦令和5年度実施結果に対する評価(成果・課題等 100字程度まで)	⑨令和6年度の実施予定(予定、課題・対策等 100字程度まで)
ベイ	千葉市立郷土博物館	博物館実習の受け入れ	c.教育機関への人員派遣・学生受け入れ	博物館法に規定する実習生を受け入れ、資料の収集保存、調査研究、展示、教育普及等について習得させる。				関心のある学生2名を受け入れて実習させた。実習生からは好評であった。	5人を限度に受け入れ
ベイ	千葉県立現代産業科学館	県立市川工業高等学校連携事業 インテリアデザイン部卒展	f.作品の公募・展示	市川工業高等学校インテリア科の卒展は12年目を迎えた。2日間の一般公開に加え、サイエンスドームにて課題研究発表会を実施した。発表会ではプレゼンテーションの内容が素晴らしく、発表の仕方も工夫されていた。生徒の家族だけでなく、内定先・進学先からも関係者が参加し、質疑応答でも盛り上がりを見せた。	千葉県立市川工業高等学校	2012		卒展の展示は数・内容ともに充実し、見学者にも好評であった。一般の来館者も企画展示室へ入り、効果的なイベントであった。高校側に見れば、会場設営から運営、そして撤収作業まで生徒自らが行うだけでなく、サイエンスドームでプレゼンテーションを行うことで生徒たちの成長が期待される。	新たな来館者の開拓と目新しい展示が行われるということで、相互にメリットがある事業である。令和6年度も引き続き学校連携事業の一つとして開催予定である。
北総	佐倉市立美術館	女子美術大学日本画作品展 美粒子2024	f.作品の公募・展示	佐倉市と連携協働に関する協定を締結した女子美術大学の日本画専攻在学学生及び卒業生の作品展	佐倉市立美術館	2023	2023	若い世代の情報発信及び交流の機会を提供することで、新たな文化交流の機会創出につながっている。	引き続き実施予定
九十九里	茂原市立美術館・郷土資料館	共催展示 市内高校合同美術展	f.作品の公募・展示	市内の公立高校2校の美術部員の作品発表の場として開催。担当教員、生徒たちが、自分たちの作品の展示配置を考え、自分たちで作業を行って開催。今年度は、高校生の意見を聞くことを目的として、美術館学芸員との対話の機会を持った。また、バーチャルミュージアム映像として会場の映像配信も行った。	市内高校合同美術展事務局	1994		高校生からの要望を聞き取ったことにより、当館で開催する「茂原市文化祭」において、高校生の美術作品の展示機会を設ける見込みとなった。	令和6年度は、計画どおり令和7年1月17日～1月22日に開催予定。今後も継続してゆく。
かずさ・臨海	市原歴史博物館	Z世代解説付き薬師如来	b.イベント(事前予約制/関係者のみ参加)	市内在住在学の高校生が、Z世代の視点から特別展の展示「薬師如来」を解説		2023	2023	市内在住在学の高校生が、Z世代の視点から特別展の展示「薬師如来」を解説することで、自らの言葉で解説パネルを作成する機会を提供できた。	未定

※調査対象45施設(うち回答があった41施設について集計)

【柱5】ちばの強みを生かした文化芸術の創造・発信

～ちばの強みを生かした「ちば文化」のブランド化と、近年、文化芸術の新たな表現手段や発信・保存方法として発達してきたテクノロジーの導入や、伝統文化及び地域固有の文化と国内外とのコラボレーションなどにより、新たな「ちば文化」の創造を進める～

1 千葉県の豊かな自然や文化資源を活かした展示・事業について

(1) 展示・事業実施の有無

	回答数(A)	割合%(A/B*100)
実施している	16	39.0
実施していない	25	61.0
計(B)	41	

【「実施している」の補足】エリア別回答数、割合

エリア	回答数(C)	割合%(C/実施*100)
ベイ	7	43.8
東葛飾	3	18.8
北総	1	6.3
九十九里	1	6.3
南房総	3	18.8
かずさ・臨海	1	6.3

【「実施している」の補足】事業の属性

事業の属性	回答数(C)	割合%(C/実施*100)
a. イベント(不特定多数が参加)	6	37.5
b. イベント(事前予約制/関係者のみ参加)	5	31.3
c. 教育機関への人員派遣・学生受入れ	0	0.0
d. 舞台公演・コンサート	0	0.0
e. 講演会・研修会・シンポジウム	1	6.3
f. 作品の公募・展示	2	12.5
g. キャンペーン	0	0.0
h. 支援・助成制度(※人材育成を含む)	0	0.0
j. その他	2	12.5

(2)-1「実施している」場合の全体的な課題について(複数回答可)

	a. 事業予算が確保できない	b. 事業を企画・実施するための職員が不足している	c. 事業を企画・実施するためのノウハウが不足している	d. 長期的な視野に立った継続事業ができない。	e. 関係者・関係機関とのネットワークがない	f. 関係者・関係機関からの要望がない	g. 連携する関係者・関係機関が固定化し、新規連携が伸び悩んでいる	h. その他	計
回答数	4	9	1	3	0	1	1	1	20

【h.その他】の概要(抜粋)

・美術館部門の担当者が学芸員1名である。

(2)-2「実施していない」場合の理由について(複数回答可)

	a. 事業予算が確保できない	b. 事業を企画・実施するための職員が不足している	c. 事業を企画・実施するためのノウハウが不足している	d. 長期的な視野に立った継続事業ができない。	e. 関係者・関係機関とのネットワークがない	f. 関係者・関係機関からの要望がない	g. 連携する関係者・関係機関が固定化し、新規連携が伸び悩んでいる	h. その他	計
回答数	4	10	7	6	3	4	1	1	36

【h.その他】の概要(抜粋)

・他(館)に担当がある。

2 最新のテクノロジーを取り入れた文化芸術の創造・促進を目的とした事業について

(1) 展示・事業実施の有無

	回答数(A)	割合%(A/B*100)
実施している	5	12.2
実施していない	36	87.8
計(B)	41	

【「実施している」の補足】エリア別回答数、割合

エリア	回答数(C)	割合%(C/実施*100)
ベイ	3	60.0
東葛飾	1	20.0
北総	0	0.0
九十九里	0	0.0
南房総	0	0.0
かずさ・臨海	1	20.0

【「実施している」の補足】事業の属性

事業の属性	回答数(C)	割合%(C/実施*100)
a. イベント(不特定多数が参加)	2	40.0
b. イベント(事前予約制/関係者のみ参加)	1	20.0
c. 教育機関への人員派遣・学生受入れ	0	0.0
d. 舞台公演・コンサート	0	0.0
e. 講演会・研修会・シンポジウム	0	0.0
f. 作品の公募・展示	0	0.0
g. キャンペーン	0	0.0
h. 支援・助成制度(※人材育成を含む)	0	0.0
j. その他	2	40.0

(2) -1 「実施している」場合の全体的な課題について(複数回答可)

	a. 事業予算が確保できない	b. 事業を企画・実施するための職員が不足している	c. 事業を企画・実施するためのノウハウが不足している	d. 長期的な視野に立った継続事業ができない。	e. 関係者・関係機関とのネットワークがない	f. 関係者・関係機関からの要望がない	g. 連携する関係者・関係機関が固定化し、新規連携が伸び悩んでいる	h. その他	計
回答数	1	2	1	0	0	0	0	0	4

【h.その他】の概要(抜粋)

--

(2) -2 「実施していない」場合の理由について(複数回答可)

	a. 事業予算が確保できない	b. 事業を企画・実施するための職員が不足している	c. 事業を企画・実施するためのノウハウが不足している	d. 長期的な視野に立った継続事業ができない。	e. 関係者・関係機関とのネットワークがない	f. 関係者・関係機関からの要望がない	g. 連携する関係者・関係機関が固定化し、新規連携が伸び悩んでいる	h. その他	計
回答数	11	18	13	7	8	8	2	3	70

【h.その他】の概要(抜粋)

・財政状況により、事業予算の確保が困難である。 ・主たる展示趣旨と異なるため

【柱5】ちばの強みを生かした文化芸術の創造・発信

～ちばの強みを生かした「ちば文化」のブランド化と、近年、文化芸術の新たな表現手段や発信・保存方法として発達してきたテクノロジーの導入や、伝統文化及び地域固有の文化と国内外とのコラボレーションなどにより、新たな「ちば文化」の創造を進める～

1 千葉県の豊かな自然や文化資源を活かした展示・事業について

(4) 代表的な事業事例(抜粋)

エリア	施設名	事業の名称	②事業の属性	③事業の概要	④連携団体(例:実行委員会の構成団体等)	⑤事業の開始年度	⑥終了(予定)年度	⑦令和5年度実施結果に対する評価(成果・課題等 100字程度まで)	⑨令和6年度の実施予定(予定、課題・対策等 100字程度まで)
ベイ	千葉県立美術館	100人ワークショップ	b.イベント(事前予約制/関係者のみ参加)	千葉大学教育学部と連携し、県内の中学生に募集をかけ、県内から採取した自然木を材料にシュロ縄で結び、組み上げて、協力し合って巨大なオブジェを完成させた。	大学	2012		県内中学校美術部の生徒が、学校の枠を超えて複数の班に分かれ、協力しながら一つのテーマで表現した。	企画協力していた千葉大学教育学部教員の退職に伴い、今年度からは実施しない予定。
	八千代市立郷土博物館	自然観察会	b.イベント(事前予約制/関係者のみ参加)	八千代市及び近隣地域の自然をたずねて成り立ちや植生の特徴を知ることにより、地域の自然的景観に親しみ、自然に関する興味・関心を育てる機会を提供する。	外部講師			令和5年度は平戸・佐山地区を散策した。	
東葛飾	流山市立博物館	博物館子ども教室	b.イベント(事前予約制/関係者のみ参加)	身近な自然素材を活かした工作講座				身近な自然を感じることができた。	
	九十九里 茂原市立美術館・郷土資料館	千葉県誕生150周年記念事業 美術企画展「人類への愛 鳩川(におかわ)誠一展 ～初公開の遺作と千葉県の風景～」	f.作品の公募・展示	世界的にも活躍した茂原市出身の洋画家 鳩川誠一を取り上げた展覧会を、県誕生150周年記念事業として開催した。作者が代表作「海女人命救助」を描く動機となった、江戸時代の御宿での外国船遭難者救助は、ちば文化資産「日西墨三国交通発祥記念碑」へと繋がっている。ちば文化資産の紹介と併せ、作者の千葉県の風景画作品を展示し、千葉の自然環境に育まれた作者の姿を紹介した。	千葉県 文化振興課	2023	2023	当館で4年ぶりとなる有料での企画展であり、県誕生150周年記念事業補助金の交付を受けて開催した。作者の画業とともに千葉の自然等を紹介した有意義な展覧会であった。観覧者数は目標の800人を超え1,264人で、図録の販売数は目標の200冊に達しなかったが161冊であった。	令和6年度は、美術企画展の計画はないが、千葉県の自然風景を描いた作品を紹介する展覧会を開催予定である。
かずさ・臨海	鋸山美術館(旧金谷美術館)	金谷石のまちシンポジウム	e.講演会・研修会・シンポジウム	鋸山の房州石の採石の歴史を学術調査し成果の発表や他地域の石切文化についての講演、そして現地の残る石切場遺構を活用した地域活性化などについて討議する	金谷ストーンコミュニティ	2009	203	長年の活動で鋸山、房州石について広く告知することができた。また他地域のネットワークも広がった	2024年11月実施予定

2 最新のテクノロジーを取り入れた文化芸術の創造・促進を目的とした事業について

(4) 代表的な事業事例(抜粋)

エリア	施設名	事業の名称	②事業の属性	③事業の概要	④連携団体(例:実行委員会の構成団体等)	⑤事業の開始年度	⑥終了(予定)年度	⑦令和5年度実施結果に対する評価(成果・課題等 100字程度まで)	⑨令和6年度の実施予定(予定、課題・対策等 100字程度まで)
ベイ	千葉市立加曾利貝塚博物館	スマートグラス体験	a.イベント(不特定多数が参加)	AR/VR技術による展示解説を体験できる。				子供も大人も体験する様子が見られたが、おおむね好評であった。	令和6年度の夏・秋のイベントで実施予定。
東葛飾	松戸市立博物館	まつどデジタルミュージアムの開設	j.その他	松戸市立博物館と戸定歴史館で所蔵している貴重な資料をデジタルアーカイブ化し、市民の方々に幅広く且つ包括的に資料を公開したデジタルミュージアムを2022年度開設した。松戸の歴史に対して興味、探求心を創出。また、デジタルミュージアムでは、所蔵資料の公開のみならず、こども向けに作成したまつどの歴史紹介ページやデジタルマップの活用により、新たな生活様式の下でも、本事業を活用した松戸市所蔵資料の鑑賞や体験の機会を提供。		2022		新たな生活様式の下でも、本事業を活用した松戸市所蔵資料の鑑賞や体験の機会を提供するだけでなく、デジタルアーカイブ化したことにより、資料管理の徹底と効率化に繋がった。	所属資料の保存及び体系化を引き続き実施していく。
かずさ・臨海	市原歴史博物館	仏像の3Dスキャン&色つけ体験	a.イベント(不特定多数が参加)	三次元計測の技術を応用し、市の文化財である仏像の三次元測定と、3Dプリンターで出力したミニチュア仏像に色付け	国立大学法人千葉大学大学院工学研究院 融合理工学府デザインコース デザイン文化計画研究室	2022		三次元計測の技術を応用し、市の文化財である仏像の三次元測定と、3Dプリンターで出力したミニチュア仏像に色付けを行うことで、市の文化財への関心や愛着の醸成ができた。	未定